

ハマボウフウ セリ科

ハマボウフウは砂浜海岸に生えています。

6月から8月に茎の先に多くの白色の小さな花を咲かせます。若葉や若芽は古くから食用にされ、根は薬として利用されてきました。

最近、海岸の護岸工事や車の乗り入れなどによって、砂浜の環境が急速に変化して生育地がせばめられ、少なくなっています。



ハマボウフウの特ちょう

葉は3つに分かれ、やや厚く、光沢があり、砂地に広がっています。根は太く、まっすぐ地中に深くのびています。

茎は短く、根元から出る葉には赤むらさき色をした長い柄があります。

調べやすい時期（花期）

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

県内の分布

舩倉島や七ツ島をのぞく海岸にはえています。

見つけやすい場所

やや安定した砂浜にはえています。

見分け方のポイント

